



コミュニティー



コーポラティブ



COCO-Community地域社会との関わり、Cooperative共同して生活してゆく、の意味

2017年1月

発行所*COCO湘南

〒252-0804

藤沢市湘南台7-32-2

Tel:0466-46-4976

Fax:0466-42-5767

発行者*大江守之

2017年を迎えて



NPO法人COCO湘南
理事長 大江守之

理事長としての1年目はあっという間に3分の2が過ぎました。この間、理事会を月1回のペースで開催し、COCO湘南台とCOCOたかくらの運営の現状と将来に向けての課題を理事全員で共有することにつとめてきました。5月の総会では、これまで話し合ってきたことをまとめてご報告し、会員全体で共有できるようにしたいと考えています。

私ごとですが、昨年の6月に65歳になり高齢者の仲間入りをし（最近の高齢者の年齢に関する定義の議論の如何ではまた高齢者からはずれる可能性もありますが）、この3月で慶應義塾大学を定年退職いたします。今後は高齢期の暮らしをより実感をもってとらえることができるようになっていくと思いますし、時間的にも余裕が出てきますので、COCO湘南の運営に活かしていきたいと思います。今後もグループプリビングの運営に皆さまのご協力をお願いいたします。



役員の自己紹介

最上 真理子 副理事長

長い事働きながら社会の一員として色々なことに関わってまいりました。そしてたくさんの人生勉強をさせていただき、感謝の思いでいっぱいです。今後も大江理事長のもと、法人の活動を微力ではありますが支えて行きたいと思っております。

座右の銘は「よく生き よく笑い よき死と出会う」アルフォンス・デーケン先生の言葉より
どうぞこれからも宜しくお願ひ致します。

脇屋 英子 副理事長

副理事長の任をいただきました脇屋英子でございます。
私は仕事をリタイヤしたときから始まる私の老後をどう生きるかと言うことを考え続けてきました。

COCO湘南の住まい方、自立と共生を理念に掲げ少人数で住む住宅、グループリビングと言う考え方出会い、そして共感しこの活動に参加してまいりました。健康で楽しい暮らし、誰かに常に寄り添ってもらえる環境をめざし始まったこの暮らし方は設立以来進化をし続けてきたように思います。

私は”自立と共生”の言葉の持つ意味を理解し経営者という視点から 安心して住み続けることのできる住まい“COCO湘南台”と“COCOたかくら”をつくるお手伝いをしたいと考えています。よろしくお願ひいたします。

中野 満 常務理事

私は今年度から事務局兼務で常務理事を務めさせていただくことになりました。個人的にはCOCO湘南との関わりは長く、藤沢市の高齢福祉担当者として西條さんと接したのが最初でした。2008年に地域交流拠点「COCOみちしるべ」が開設されると、退職して当時何もしていないこともあって、そのボランティアスタッフとなって約5年間活動させていただきました。その間一時法人理事にも就任しましたが、2012年度からは事務局に入り、以後専ら法人総務に携わるようになりました。

今、COCO湘南は大きな転換期を迎えてます。西條さんや研究会の方々が築き上げた「グループリビング」という財産を新たな時代に対応した高齢者の住まいとして継承し、広めていく必要があると思います。そのためにも安定的な事業運営が求められており、居住者並びに会員の皆様の信頼関係の下、責任感をもって諸課題に取り組んでいく所存です。どうぞよろしくお願ひいたします。



2

江野 隆介 理事

昭和21年生まれ 羽鳥在住。
東京から藤沢の地を踏んで40数年。西條さんとブラジル移住という視点で知り合い、西條さんが市会議員となり、障がい者問題に関わりを持った時点で、私もこれを手伝いたいと押しかけ居候。西條宅に自ら自室を増築し、藤沢に住まわせてもらった。この間施設は「太陽の家」しか無く学校は「白浜養護学校」しかなかった。これでも藤沢は進んでいたわけだが、「財団法人藤沢市生きがい福祉事業団」(現シルバー人材センター)設立を期に、神奈川県の「ともしび運動」とも相まって障害者施設も増え現在の藤沢市の障害者福祉がある。こんな流れの中を歩めた事は幸せだったと思っています。

さて、出発点では時代を先取りした「グループリビング」。近年高齢者福祉施策も様々に唱われているが、個の生活に視点をおいた生活環境はあまり見あたらない。そんな意味からも地道でも永久に続く機構としたい。

小川 良子 理事

グループリビングCOCO湘南台、前理事長西條節子先生との出会いからかれこれ20年近くになります。私自身が福祉事業所を立ち上げた時には後方援助をいただきました。力強い味方でもありました。自立と共生の理想郷でもあるこの場所を訪問し研究会に参加し心をときめかせました。

生活者は生き生きと日々の生活をエンジョイされながらお暮しになられていました。加齢とともに起きる病気や不安が、サービス付き高齢者住宅の進出もあり、思いがけず比較対象になつたりもしました。これからはグループリビングの理想郷を支えて安心して生活をするために課題も出ております。

私自身はと言えば、長い務めを終え、残された人生に今まで成しえなかつた多くの人々と積極的に交流し安否確認を行い楽しみながら、忙しい日々を過ごす生活が始まっています。

熊澤 淑子 理事

「COCOたかくら」の居住者の要望と本音を運営委員会に反映させ、それを実現させていく事と「COCO湘南会報」の編集が私の仕事です。

みなさん、今年も健康で笑顔いっぱいのCOCOの生活を楽しみ、造り、元気いっぱいに生き抜いていきましょう。

私事ですが「風ー異次元」という画集を昨年12月に求龍堂から発行しました。「子どもの絵の指導にあたっては、自分で描いてみなければ、本当の指導ができない」と「自分自身の制作活動」との二束の草鞋を履いて、約半世紀。気がついてみたら85歳っていました。そこで、今度、お世話になった方々への感謝の気持ちと、自分の人生の記録をまとめておこうと画集をつくりました。拙い画集ですが制作はじめから約半世紀の作品。私の子ども達と言えるものばかりです。画集を手にとってご覧いただけましたら幸いです。

3



左上より 佐竹 橋本 脇 熊澤 江野 小川 関水 左下より 中野 最上 大江 増本 脇屋

今年度から、理事になりましたCOCO湘南台・ライフサポーターの佐竹です。
以前、ワーカーズコープおり~ぶに所属し、「湘南台」と「たかくら」の共有部分の掃除や、サロンコンサート、バーベキュー、誕生会、上野千鶴子先生の講演会等のイベント等に関わっていた事が縁で、綾瀬市文化会館自主事業の非常勤職員を退職と同時に、ライフサポーターになりました。

出身は、岩手県花巻市。大学卒業と同時に、就職で川崎市へ。結婚で、藤沢市民になりました。藤沢市は、都心から程よい距離にあり、気候も温暖で、鎌倉、江ノ島、箱根等の観光地もあり、非常に住みやすい街です。岩手を離れて、40年弱。年々、岩手が遠くなります。

映画が好きで、2本立て映画を観に、月に2回、飯田橋まで通っていましたが、今は、近隣の映画館のみです。私の、ささやかな望みは、昔みたいに、2、3本立てで、飲食自由、入れ替えなしで一日中いられる映画館が近隣に出来ることです。

ライフサポーターとしては、居住者の「自立と共生」を支援し、自主性と自由を尊重し、遠くから見守る姿勢を保ち、理事としては、安心、安全、穏やかであたたかな暮らしが出来る体制作りに、微力ながら、貢献したいと思っています。

佐竹 三保子 理事

1952年東京生まれ、大和市在住。理事2期目です。
昨年3月まで寒川町にある高齢者福祉施設の施設長でしたが、現在は、フリーです。趣味は、音楽鑑賞、ゴルフ。音楽は、クラシック、オペラが好きです。

COCO湘南との出会いは、3年前に前理事長の西條さんからお声をかけていたことがあります。西條さんは、30年前に芸術文化の仕事で一緒にして以来、細く長いお付き合いです。

理事1期目で、COCOありまの課題に理事で構成した対策チームの一員として関わり、グループリビングのありようの理解が進みました。その時の経験を通して、COCO湘南のこれまでの道のりを踏まえ新たな発展を目指すことが、理事会の共通認識になっていると感じています。

大江理事長の進めるCOCO湘南の未来に向けた取り組みを会員の皆様の協力と生活者の皆様の理解のもと、理事の一人として微力ながら推し進めていきたいと思っています。

どうぞよろしくお願ひいたします。

関水 秀樹 理事

4

橋本 美智子

理事

この度新しく理事を拝命いたしました橋本です。前理事長より主婦感覚、主婦の目を活かした理事になって欲しいと言われました。今のところはまだ何もお手伝いは出来ていませんが、私も高齢者の一人として自分自身に置き換えて理事会の進む道、なすべき事を考えながら活動していきたいと思っております。

増本 敏子

監事

私は、西條さんとは長い友人として、COCO湘南とも、何か困りごとが起きたときに馳せ参じるという間柄でした。協力者がたくさん居られるので、外から成功を祈っているだけでしたが、この度、世代交代の難しい時期となり、COCO湘南の発展に少しでもお役に立てればと監事のひとりに就かせて頂きました。

私は、弁護士歴5年4年の古い弁護士で、藤沢に開いていた事務所も閉じて自宅に仕事場を移し、限られた仕事だけをしております。それでも長年の友人、知人も高齢となり、相続や後見の相談などで忙しい毎日を送っております。この年齢になって初めて分かることもたくさんあり、助けを必要としている高齢者も多いと日々奮闘しております。

COCO湘南の運営もこれからが正念場ですね。大江理事長をはじめ理事の皆様を支えて、微力を尽くしたいと思っております。また、入居者の皆様のミーティングにも時々お邪魔させてください。その折は、どうかよろしくお願い申し上げます。

脇 礼子

監事

監事を務めさせていただきます脇礼子です。

私がCOCO湘南に関わらせていただいたきっかけは、西條節子さんから、自由と尊厳のある暮らしを担保する住まい、グループリビングに対する熱い思いを聞いたことからです。

自分のことは自分で決める自己決定と、お互いが助けあいながら生活する「自立と共生」の高齢者住宅としての理想の姿を感じました。そして、そこに住まわれる方々が生き生きとされていたことがとても印象に残っています。

時代が流れ、高齢者住宅や高齢者の施設も増えてきました。COCO湘南台・COCOたからくらに暮らす方たちも変わり、「自立と共生」を理念とした住まいを維持していくことの重要性を監事となり再認識しています。

安心して尊厳のある暮らしができる「すまい」としてCOCO湘南台・COCOたからくらが維持できるよう、理事の皆さんと一緒に取り組んで行きたいと思います。

～NPO会員の募集～きっと人それぞれに出来る大切な一歩があるはず！

COCO湘南の活動にいろいろなかたちでのご参加とご支援をお待ちしています。

●会員になってくださる方

正会員：個人入会金 ¥5,000（年会費1口 ¥5,000）
団体入会金 ¥10,000(年会費1口 ¥10,000)

賛助会員：個人年会費 ¥2,000（入会金不用）
団体年会費 ¥5,000（入会金不用）

●ご寄付くださる方

COCO湘南の活動の費用など、資金面等で
応援してくださる方

- ★特典 ①会報の送付
- ②サロンコンサートなど行事の案内
- ③ゲストルームの利用

News

COCOたかくらの居住者熊澤淑子（熊沢淑）氏が作品集「風一異次元」を発行されました。この作品集にはデビュー作から今日までの81点が収録されています。熊澤氏の作品集発行に至った経緯がミニコミ誌タウンニュースの記事に掲載されました。



画集「風一異次元」
(発行元 求龍堂・税込3,780円)
書店またはAmazonで購入できます。

新座ワークショップのお知らせ

「高齢者グループリビングの社会的普及に向けた実践的調査研究」報告会を開催します。
首都圏、関西圏の18件の高齢者小規模居住と地域密着型ケア事業者の調査を行いました。
高齢者が心豊かに暮らすことのできる高齢者住宅とは何かについて問い合わせ、良質な汎用性のあるモデルを社会に向けて提示することが目的です。
興味のある方はぜひご参加ください。

日 時 3月4日(土)13:30～17:00
場 所 グループリビング暮らしネット・えん 埼玉県新座市石神2-1-32
事業主体 NPO法人暮らしネット・えん
共 催 グループリビング運営協議会・慶應義塾大学SFC研究所地域協働ラボ
後 援 公益財団法人JKA
お問い合わせ NPO暮らしネット・えん TEL 048-480-4150

高齢者グループリビング普及活動 2016年12月～2017年1月

1月23日 フジテレビの朝番組“とくダネ！”で「友達近居」のモデルケースとして西條節子氏と熊坂児子氏（2月入居予定）が紹介されました。1月26日に放送されました。

編集後記

首都圏と関西圏で先駆的な高齢者小規模共同居住の住まいの調査を行いました。様々なタイプができており、選択の幅が広がっています。これまで調査した高齢者住宅では自分の判断で入居する人は少なかったのですが、COCO湘南のほとんどの居住者は自分で判断し入居されています。これはケアが目的ではなく、COCO湘南の自由な暮らしやともに住まうことに魅力を感じた方々が選択されたからだと思います。この魅力を絶やさないためには、どうすればいいのか、常に考えていかないといけない課題です。（な）

編集者 *西條節子
大江守之
熊澤淑子
竹内穎子
青木静恵
土井原奈津江